

テーマ：異文化理解と社会貢献

学校名 札幌創成高等学校
校長名 細野 敏
担当者 美馬 達哉

1 活動の趣旨

本校は「異文化理解・社会貢献プロジェクト」をユネスコスクール実践の学校理念として掲げ、E S Dの理念をもとに「自らの力を様々な形で発信出来る力」の育成を目標としています。具体的には、①異文化理解・交流に関わる活動 ②社会貢献に関わる活動 ③地域社会とのつながりに関わる活動 ④環境保全に関わる活動などを行っています。

2 活動計画、3 活動事例

① 異文化理解・交流に関わる活動

主に、グローバルラーニングコースの生徒に関わる教育活動

- ・ English Summer Camp 留学中の大学生を招聘し宿泊しながら留学生と語り合う
- ・ Recitation Contest 海外著名人のスピーチを暗唱して、コンテストを行う
- ・ International day 特進コース全員がグループごとテーマを定めて英語で発表する。



② 社会貢献に関わる活動 主に、全校生徒に呼びかけをして行う事業

- ・ ヘアードネーション 医療用ウィッグを必要としている人たちに約30cm以上の髪を寄付している。
- ・ シューズドネーション 学校で使用していた靴を卒業時に寄付を募り、ボランティアの生徒が洗って、アフリカの子供たちに送る活動。（昨年は104足を送った）

③ 地域社会とのつながりに関わる活動

主に、部活動等で地域の施設や行事に関わる活動

- ・茶道部 老人ホームなどに出向いて「お点前」を行う。
- ・太鼓部 地域のお祭りでの演奏 幼稚園での演奏など
- ・ボランティア部 赤い羽募金・あしなが募金・町内会での花壇づくりなど
- ・吹奏楽部、合唱同好会 地域の方をお迎えしてサロンコンサートを行う。
- ・文化系部活動 校外展 地域の会場での作品展示など
- ・FieldWork 同好会 「夏の科学の祭典」でのボランティア活動



④ 環境保全に関わる活動

主に、教科指導の中で地域の環境を学ぶ

- ・理科 地域の「大学村の森」での環境学習



4 成果と課題

国際交流関連のイベントで、本校へ来校する外国人の数が増えた。加盟したことにより教員の意識がこれまでより高まり、受け入れに対して積極的になったことが理由である。今後加盟校同士での交流が増えれば、より多くの受け入れが見込まれる。またロシアの交流使節団を受け入れたことにより、来年度（2019/4/1～4/8）「ロシア交流使節団の日本人高校生派遣プログラム」に2名の生徒が派遣されることになった。

社会貢献に関しても様々な取り組みを行ったが、こちらに関しては評価が難しい。これらの活動によって何かに数字として変化が現れれば評価をすることも可能だが、今後の社会貢献活動の貢献度や生徒の満足感などを計る手段を検討しなければならない。